

様式(細則 5-2)

令和7年12月26日

浜田市議会議長 澁谷 幹雄 様

議員名 芦谷英夫

調查研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため視察を行ったので報告します。

記

- | | |
|-------------------------|---|
| 1、視 察 名 | 多文化共創社会フォーラム in いずも |
| 2、視察事項 | 多文化共創社会フォーラムでの識者の提言、外国人や関係者の考
えや意見、自治体の取組など |
| 3、視察の目的（市政との関連など） | 多文化との共生が問われ自治体としてどう取り
組むのか、行政の各般にわたることについて調査研究 |
| 4、日 時 | 令和7年12月21日（日）13時30分～16時 |
| 5、経 費 | J R 代 4,440円（浜田～出雲市往復）
駐車場 400円（浜田駅） |
| 6、視察のポイント・議員活動や市政への反映など | 市政にとって技能実習生の増加、
留学生や外国人観光客の受け入れなど、新たな行政施策、地域のあ
り方、市民の理解を深めることなどの課題があり、識者の提言、外
国人や関係者の考えや意見、自治体の取り組みなどの調査研究 |
| 7、視察内容 | 別紙のとおり |



多文化共創社会フォーラム in いずも

令和7年12月26日

- 1 日 時 令和7年12月21日（日）13時30分～16時
- 2 会 場 出雲市（市役所くにびき大ホール）
- 3 概 要 基調講演「多様性と共に生きる～多様性を味方に自分の未来に繋げよう～」ナディ（イラン出身40歳、6歳のとき難民として来日、現在は都内で会社員）

グループセッション テーマ「共に創る未来への語り」（7グループ）

- ① （基調講演 ナディ）参議院選挙では参政党の躍進など、外国人政策が問われ外国人に対する忌避感情がことさら煽られ、世論も含め多文化共創社会とは逆の方向に向かっている現実がある。
- ② かつてランドセルは男子は黒と女子は赤しかなかったが、いまはいろいろな色があり男子女子を問わないように、まさに多様性と多文化が広まっており、ものの見方や考え方をどう変えていくか、それを人がどう受け入れるかの時代に入っている。
- ③ 多文化や多様性をどう受け入れてどう共生するかが問われており、多様性では違いを許すだけでは足りず、それを包み込む地域社会、簡単には変えられない場所があり、人と人との関係、対話のあり方、伝え方などが問われる。
- ④ 世界は変わってきており、日本国内や日本人は変わっているのか、世界に比べ日本社会はいまどこにあるのか、選択肢の幅と挑戦を可能とする仕組みがあるのか、形にとらわれることなく、そして未来はどうなるのか、答えは一つではない。
- ⑤ 多文化は新しい概念で、未来を構想し、多文化を共に創る、日本に新しい価値をもたらすことが大切で、日本にいる外国人をどう思いどう接し、外国人が日本をどう思い日本人をどう理解するか、生活の現場、原点が問われている。
- ⑥ （グループセッション要点）外国人と接し違いを知り世界を知り文化を知る。小学校では日本語教室と普通教室で学び学校に溶け込んでおり、スクールカウンセラーが対応している。国際関係に進む者もおおり外国人のサポートをしてほしい。技能実習生が日本のルールに戸惑い物価高にも困っている。
- ⑦ （出雲市の状況）出雲市の外国人住民数は令和7年11月末現在5,341人（うち、直江地区910人）で、市の人口171,593人で、外国人住民が占める割合は3.1%。外国人の町内会加入数、広報が届いている世帯とも未把握で、ごみ収集カレンダーなど配付している。
- ⑧ 出雲市の国際交流員数は4名、出身国はフィンランド、ブラジル、アイルランド（英語圏域として）は文化国際室に、フランスはインバウンド推進課に配属している。外国人で小中学校へ通っている児童生徒数は、令和7年9月時点で252人である。

4 所 感

- ① 外国人の受け入れについては、技能実習生制度など地方で行われることになり、出入国在留管理庁の補助などで、自治体は相談窓口などを設けるとされているが、

浜田市の現状をみると本腰を入れる行政課題である。

- ② 浜田市に住民登録のある技能実習生は約 200 人/742 人 (R7.12.22 現在) であり、町内会に加入しているのは「なし」とされており、ごみ出し、地域の営みなどに外国人とどう共生して行くのかの課題がある。
- ③ 県立大学について新入生を対象に「ごみ収集日程表」を配布し、大学からの依頼で出前講座を実施し、リハビリテーションカレッジ島根から依頼で、留学生を対象にした出前講座を実施しているが、外国人に対する案内や説明など監理団体や雇用主との連携が必要である。
- ④ ごみの分別表は、5 か国 (英語・中国語・ベトナム語・韓国語・インドネシア語) で作成しており、外国人を雇用している事業所などから依頼があることで配布しているが、町内会との連携、住民の理解を進めることも必要である。
- ⑤ 外国人で小中学校へ通っている児童生徒は、バングラデシュ国籍の児童が 2 名在籍し、語学教育も含め教員の確保などが課題としており、現在、教員ではなく会計年度任用職員 2 名が日本語指導をしているが、十分な対応なのか検証が必要である。
- ⑥ 浜田市の国際交流員は中国、英語圏、ベトナムの 3 人交流員が在籍しており、海外との友好協定を結んでいるのは石嘴山市、栄成市、真如鎮、ブータン王国であるが、これら国際交流施策を通じて、多文化との共生、外国人への理解と融和を進める必要がある。

—以上—